

日本万国博覧会記念公園シンポジウム2023

「日本人」の内と外

異文化接触を語り合う

2023

10月28日(土) 13:30—16:30(開場13:00)

会場 国立民族学博物館

みんなくインテリジェントホール(講堂)

定員 350名(要事前申込・先着順)

参加費 無料

オンライン(ライブ配信)あり。申込不要。
千里文化財団のWEBサイトより無料でご視聴いただけます。

申込・イベント詳細
https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2023/



プログラム

講演1「大阪と博覧会イメージ

— 成功体験はくり返すか、
第5回内国勧業博からEXPO'70へ」
橋爪 節也 大阪大学名誉教授

講演2「京都と万国博覧会」

井上 章一 国際日本文化研究センター所長

講演3「万博でアフリカから何が学べるのか？」

ウスビ・サコ 京都精華大学 全学研究機構長

パネルディスカッション

パネリスト

橋爪 節也、井上 章一、ウスビ・サコ

ファシリテーター

吉田 憲司 国立民族学博物館長

「日本人」の内と外 ——異文化接触を語り合う

2023
10月28日(土) 13:30-16:30(開場13:00)

国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂)

プログラム

13:30	挨拶 中牧 弘允 千里文化財団理事長
13:40	シンポジウムの開催にあたって 吉田 憲司 国立民族学博物館長
14:00	講演1「大阪と博覧会イメージ ——成功体験はくり返すか、 第5回内国勸業博からEXPO'70へ」 橋爪 節也 大阪大学名誉教授
14:20	講演2「京都と万国博覧会」 井上 章一 国際日本文化研究センター所長
14:40	講演3「万博でアフリカから何が学べるのか？」 ウスビ・サコ 京都精華大学 全学研究機構長
15:00	休憩
15:10	パネルディスカッション パネリスト 橋爪 節也、井上 章一、ウスビ・サコ ファシリテーター 吉田 憲司
16:30	閉幕

お申込について

- 会場参加……………定員350名、要事前申込、先着順
・参加費：無料
・申込受付期間：2023年9月4日(月)～10月20日(金)
※手話通訳が必要な方は、9月29日(金)までにお申し込みいただき、その旨お知らせください。
- オンライン(ライブ配信)……………予約不要
当日、千里文化財団WEBサイトのイベント詳細ページより無料でご視聴いただけます。

申込方法

会場参加につきましては、下記イベント詳細ページ内の受付フォームよりお申込みください。

千里文化財団 WEBサイト
イベント詳細・受付フォーム
https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2023/



- ※電話でのお申込み
次の必要事項をお知らせください。
①イベント名 ②代表者氏名(漢字、ふりがな) ③参加人数(代表者を含む2名様まで)
④電話番号(代表者のみ)

お問い合わせ

公益財団法人
千里文化財団

万博記念公園シンポジウム2023事務局(千里文化財団)
sympo2023@senri-f.or.jp
TEL: 06-6877-8893(土日祝日を除く9:00-17:00)

1970年大阪万博は、多くの日本人が自国以外の異文化に大規模に接触する大事件となりました。それから約50年、われわれ日本人はどのように異文化を受容し、あるいは自国の文化を海外に向けて発信してきたのでしょうか。2025年大阪・関西万博の開催を控えたいま、本シンポジウムでは、1970年大阪万博およびそれ以後の50年間での日本における異文化接触とその受容のあり方を検証し、日本人にとっての「内」と「外」の認識をあらためてふりかえるとともに、これからの時代に求められる私たちの世界とのかかわり方について考えます。

登壇者プロフィール



橋爪 節也 hashizume setsuya

大阪大学名誉教授。美術史家。専門は近代大阪の美術。近世・近代大阪の文化芸術を広く調査研究している。著書に『橋爪節也の大阪百景』(創元社)、『映画「大大阪観光」の世界——昭和12年のモダン都市』(大阪大学出版会)など。



井上 章一 inoue shoichi

国際日本文化研究センター所長。専門は風俗史。建築史・意匠論のほか、美人論、関西文化論など、幅広いジャンルにわたって、ユニークな視点で日本文化について発言している。著書に『京都ざらい』(朝日新書)、『関西人の正体』(朝日文庫)など。



ウスビ・サコ oussouby sacko

京都精華大学全学研究機構長、アフリカ・アジア現代文化研究センター長、情報館長。専門は空間人類学。社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。著書に『これからの世界』を生きる君に伝えたいこと(大和書房)、『ウスビ・サコの「まだ、空気が読めません」』(世界思想社)など。



吉田 憲司 yoshida kenji

国立民族学博物館長。専門は博物館人類学、アフリカ研究。仮面結社と憑依現象、美術館や博物館における文化表象について調査をおこなう。著書に『仮面の世界をさぐる——アフリカとミュージアムの往還』(臨川書店)、『文化の「発見」——驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで』(岩波書店)など。

国立民族学博物館のご利用案内

- 開館時間……………10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日……………水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
- 観覧料……………一般580円/大学生250円/高校生以下 無料
※本館展示、特別展のご見学には観覧料が必要です。
特別展示観覧料、観覧料割引についてはみんなくWEBサイトでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール……………「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス……………阪急茨木駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
※本シンポジウムにご参加の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。同園内を無料で通行できます。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ご来館のみなさまへ

諸事情により予定を変更する場合があります。事前にWEBサイトでご確認ください。

国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
<https://www.minpaku.ac.jp/>

